



19960928  
[9604]  
総34号  
発行 桂坂  
自治連合会  
広報編集部

# 桂川河川敷で 大々的に防災訓練

京都市総合  
防災訓練を見学して  
榎本美也子

九月一日(日)朝八時二〇分に集合して、私達桂坂自治会員は会場となつてい

る松尾橋下流の桂川左岸へ向かいました。今年、右京区の担当ということで、桂坂学区は特に決まった見学場所がなかったのですが、朝早くから一番のりで立ちん棒をしている私達のために本部近くの特等席(?)に案内して下さいました。

会場にはすでに大地震を想定して、傾いて地中にめりこんだ五階建てのマンション、屋根だけ残って陥没してしまつた木造家屋、火災現場に近いお寺等々、口ケ現場さながらの設営に、見学する私達の緊張感も高まっています。

九時開始とともに暴風雨

のような大音響が入り、まもなくけたたましいサイレンの音とともに救急車が次々に到着。救急車、消防車にも色々な役割を持つ車種があるのだと始めて知りました。これを使得って、災害対策本部から自衛隊への特別救助が要請されます。

早速にマンションに閉じ込められている人達(本物)の救出、救助作業が始まります。屋根だけが地上に残っている家屋の周囲をスコップで掘り始めますが、ここが河原に高々と大放物線を描いての消火活動です。火事はなかなか鎮火しそうで、いままでも大放水が続いています。

「川のそばのお寺でよかつたけれど、実際にはこんなにごんごん水を使えるのかしらん」とつい、自宅のま

ん前にある消火栓の上に車を止めたりする私は不安な気持ちで見守っていました。自衛隊のヘリが飛んで来て空中からの救助も始まりました。電気、ガス、水道等の復旧工事も着々と完了してきます。一時間ほどかかると屋根には人が一人出入りできるくらい

の穴が切断されました。そこから家屋の中に入つて救出作業が始まりました。火事にみとれている間にマンションの五階の窓から身をのり出して救助を求めていた人(これはマネキン)もいつのまにかシューケール

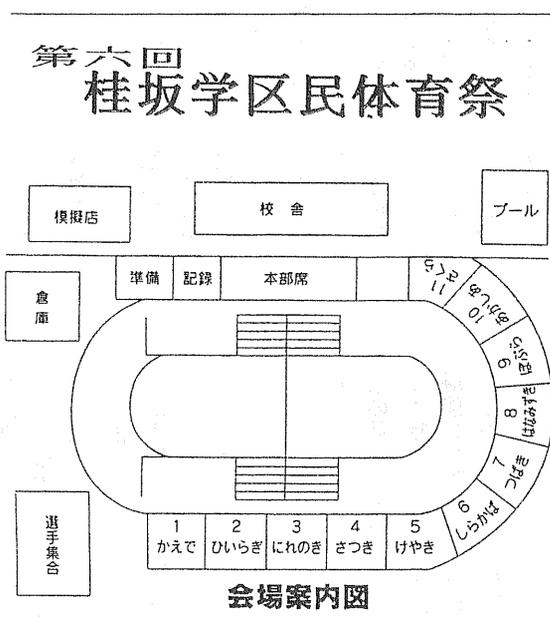
車ですり降ろされて救出されています。すばやい復旧救出作業で二時間ほどで無事に終了しました。

普段、私達の知らないところ、こんな万全な態勢がととのえられ、多くの人達が訓練に励んでおられるのを知り本当にご苦労様と安心してました。同時に火事を出さないことが第二次被害を最小限にいとめる最も大切な心構えであることもわかりました。あのマンションの五階から助けを求めた人が思い出され、窓ぎわまで自力で行ける人はいいけど寝たきりの人や

がんぜない幼な子(かれらはきつと入り口のドアの方へ向かつて逃げると思う)がとりに残されたらどうなるのだろうか、という不安を感じずにはいられません。プライバシーの保持とかねあいがむづかしいところですが、こんないざという時のために「となりはなにをする人ぞ」をきっちり把握しておくことも防災の第一歩として自治会の役割ではないかしらんと感じたことでした。

日赤の血液輸送車などがいざいざと次々到着して来ます。断絶している電話線にかわつて無線電話が通じました。これを使つて、災害対策本部から自衛隊への特別救助が要請されます。お寺の周囲が火に出ています。どんどん燃え広がります。重文もあるお寺に残っている家屋の周囲をスコップで掘り始めますが、ここが河原に高々と大放物線を描いての消火活動です。火事はなかなか鎮火しそうで、いままでも大放水が続いています。

「川のそばのお寺でよかつたけれど、実際にはこんなにごんごん水を使えるのかしらん」とつい、自宅のま



月が次第に光を帯び虫の声にも秋らしい趣が加わつて、いよいよスポーツが楽しい季節になって参りました。

来る一〇月一〇日(木曜日祝日)、桂坂小学校グラウンドにおいて第六回桂坂学区民体育祭を開催致します。この体育祭は老若男女を問わず学区民の皆様が一堂に集い、一日を明るく楽し

がんでない幼な子(かれらはきつと入り口のドアの方へ向かつて逃げると思う)がとりに残されたらどうなるのだろうか、という不安を感じずにはいられません。プライバシーの保持とかねあいがむづかしいところですが、こんないざという時のために「となりはなにをする人ぞ」をきっちり把握しておくことも防災の第一歩として自治会の役割ではないかしらんと感じたことでした。

「東桂坂」発着のバス

「東桂坂」と桂坂を往復するバスは、市バスと同じ路を通りますが、「京都駅前」行きは、ロータリーを下ると、旧山陰街道との交差点を右折して西に進み、「沓掛」・「芸大前」・「国道中山」を経て桂坂東口から京都駅に向かいます。

「西桂坂を回る」

「峰ヶ堂町一丁目」行き

他の一系統は、「京都駅前」発(二時四〇分)桂坂東口発(三時)と一六時三〇分発(桂坂一六時五〇分発)の二本です。

このバスには、「七森東桂坂」の表示の下に、朱色で、小さく「峰ヶ堂町一丁目」と記されています。

「西桂坂」系統のバスと同じ路をたどった後、ロータリーを西に進み、「西桂坂」から「桂坂小学校前」を経て「峰ヶ堂町一丁目」に到る、西回りのバスです。

便利になりましたが、くれぐれもお乗り間違いのないようにご注意ください。

桂坂社協だより創刊号で応募いたしました手話教室に、昨年同様多数の方に参加いただき、九月六日、ふれあい会館に於いて、大江先生のご指導のもとでスタートいたしました。

講座は八回、毎金曜、午後七時三〇分〜九時まで。受講料は無料です。(社協負担)一般の人よりも情報不足になりがちな聴覚に障

害のある方との交流を深め、理解し合えればと思います。今回は、前回は受講された方や、ご夫婦の方、ふれ

あいの里療護園から車椅子を、深めるために手話は大切なものです。目でみる言葉です。社会参加をされるために、大切な役割をは

たしているのが、手話通訳です。

一人でも多くの方に、受講していただけるよう毎年開催致します。次回も多数の参加をお待ち致しております。

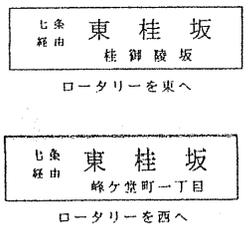
桂坂社会福祉協議会

桂坂体育振興会

この「東桂坂」桂御陵



## バスの増便・新設 便利になりました



# 西京ゆめフェスティバル

10月26日(土) 10:00~16:30

西京区が誕生して今年で二〇年になります。

## プログラム

- 10:00 開会の挨拶
- 10:30 オープニングパレード。吹奏楽演奏(高校生) 鼓笛隊(幼稚園児)
- 11:00 マジックショウ
- 11:30 交通安全教室
- 12:00 休憩
- 13:00 大型紙芝居(洛西図書館)
- 13:30 川岡東少年合唱団
- 14:00 洛西竹太筒演奏
- 14:30 吹奏楽(高校生)
- 15:00 「京都まつり」テーマソング『もつと京都』
- 踊：地域女性会
- 16:00 ファイナル(山車が出ます)

また当日は「京都まつり」の前の日に当ります。お祭り気分の高揚する広場に参加されて、存分に「ゆめフェスティバル」をお楽しみください。

日時 一〇月二六日(土) 10:00~16:30

会場 洛西ラクセーヌ周辺 一帯

主催 西京区民ふれあい事業実行委員会  
西京区誕生二〇周年記念実行委員会  
市民ぐるみ運動西京

## いきいきサタデー

小学生とのふれあい

桂坂山の手俱樂部の方々が、去る九月一四日(土)に桂坂小学校において同校児童とのふれあいを深める集いを実施されました。当日は雨上がりで、少し曇っていましたが、山の手俱樂部の方々の熱心な指導で児童たちはいきいきと歓声をあげていました。山の手俱樂部の皆様には深く感謝いたします。

また、児童の兄弟の方もお母様と一緒に来られたりして、学校の中の勉強以外の何かを、学年をこえて

# 名月観賞の夕へ

初秋の夜を満喫

桂坂文化普及会 中谷 敏清



涼風が忍び寄る秋の夜長、耳を澄ませば聞こえてくる虫の声。夜空の星を眺めながら聞き入る人々をロマンティストにしてしまう今日この頃です。

本年も九月七日、午後四時から、榎原廃寺跡史跡公園において「名月観賞の夕べ」が開催されました。日ごろ慌ただしいテンポで進んでゆく社会状況と生活の中で初秋の夜のひとときを名月を觀賞しながら各市民の方々の歌や踊りを共に楽しみ、過ごしましょう、という西京区民の憩いのつどいです。会場では、お茶席や、うどん、おでん、飲み物などの模擬店が並び出店されて、参加者のつどいの席を盛り上げる雰囲気もかもしだしてました。

この行事と催しは、西京区民ふれあい事業実行委員会、西京区民文化普及会の主催です。本年は、西京区遊び学んだ様に見られました。内容は、①ピンポーン、②竹返し、③輪投げ、④竹馬、⑤囲碁・将棋、⑥けん玉、⑦めんこ、⑧フラフープ、⑨あやとり、⑩ランドゴルフ、⑪こままわし、⑫折り紙、⑬広告紙で作る蝶々、⑭毛糸で作る手

協力をお願いいただき、ありがとうございました。

## 子どもたちの交通安全を願って

今年も「白土自転車教室」

桂坂交通安全推進会・婦人部

桂坂交通安全推進会では、今年も地域の子供たちの交通安全を目的とした自転車教室を開催しました。

当日は、天候が小雨混じりの肌寒い日和でしたが、一四〇名が参加してくれました。

それを盛り上げるため参加協力して下さった、学校、PTA、役員の方々にはこの書面をもって、お礼申し上げます。

桂坂交通安全推進会・婦人部では、今後の自転車教室をより一層向上させるため反省会もしました。反省会では活発な意見や質問、今後の見直し点など議論されました。そのいくつかを報告させていただきます。

### お父さん

お母さんをお願い！  
貴方のお子さんの身体と自転車は合っていますか？  
サドルは高すぎませんか？  
今一度確認して、身体に合わせてください。

### お母さん

次回からは自転車教室の受付時間を設ける予定です。

### お父さん

以上、今回一九九六年度の自転車教室の報告とお願ひです。



## 一日俳句教室

日時 一〇月二六日(土) 10:00~12:00

場所 ふれあい会館 研修室2・3  
講師 岩城久治氏

受講料 三〇〇〇円(昼食込み)  
小・中学生は二〇〇〇円

持参品 筆記用具・ノート歳時記・雨具

スケジュール

10:00 受付

10:30 講義(会館)

12:00 昼食(会館)

13:00 「桂坂野鳥園」送迎バス

14:00 移動「竹林公園」送迎バス

15:00 句会  
対象 一八歳以上の初め俳句を作る人・親子(小学校高学年以上)  
申込 電話、または直接、会館で。

## 第3回 趣味の作品展

「生きがい」の一端を観てください

私たち高齢者は、余生を如何に過ごすかによって決まると言っても過言ではないでしょう。

そのためにも常日頃、「生きがい」としての「趣味」を会員それぞれが楽しんでおります。

この度、その楽しみの成果を次のような要領でご披露することになりましたので、私たちの「生きがい」の一端をご覧いただければ幸いです。

日時	自 10月29日(火) 9時
	至 11月 1日(金) 12時
場所	京都中央信用金庫 桂坂支店 1階・2階
展示内容	画、書、写真、手芸、工芸、生花、園芸、文芸、その他

桂坂山の手俱樂部「趣味の作品展」実行委員会

先着30名